

SWITCHプロジェクト（業務改善部門）

一般質問に係る答弁書等の見直し

総務部総務課・DX推進室
（総務課 井上 智博）

1

一般質問の基本的な流れ



2

一般質問において抱えていた問題点



様式が
バラバラ



答弁時間が
分からない



質問内容等の
入力ミス



進捗状況等が
分からない

3

答弁書を以下のように見直し!

【見直し前】



【見直し後】



全体像が一目でわかる
「概要」と答弁内容の
「本文」の二部構成

4

③ 質問内容等の入力ミス

手入力で質問内容を入力するため誤字等の確認に時間がかかる



通告書と答弁書を一体のデータ化
↓
質問内容や質問者等を自動で表示！



④ 進捗状況等が分からない

取材の進捗状況が分からない
各課の担当者が分からない
(電話で確認していた)



全庁共有に
進捗状況確認表を作成
↓
進捗状況、担当者等の「見える化」！

| 答弁者 | 答弁時間 (予定) | 担当部署・課かみ <small>※11月と12月の担当部署で</small> | 担当者(内線) <small>※11月と12月の担当部署で</small> | 進捗状況 <small>※11月・12月確認</small> |
|--------|--------------|-------------------------------------------|----------------------------------------------|-----------------------------------|
| 教育長 | 10分 | 教育総務部総務課 学校教育課 教育総務部教育課 | 峰松(3103) 藤原(3100) 田中(3116) 馬場(3171) | (最終)提出済み |
| 保健福祉部長 | 5分 | 保健福祉部 障がい福祉課 | 田代(5107) 坂井(5107) | (最終)提出済み |



4つの見直しでこんな効果が!

| | |
|------------------|-----------------|
| 答弁時間を 計算する時間 | 1定例会あたり 約50分 |
| 質問内容等を 確認する時間 | 1定例会あたり 約50分 |
| 作成担当者を 確認する時間 | 1定例会あたり 約25分 |

全て 不要!



9

その他の取組み

答弁書作成時の生成AI(ChatGPT)活用

一般質問部長会での自動音声読上げ

答弁書(案)の紙資料提出廃止



10

ご清聴
ありがとうございました

